



公共ホール拠点 ビッグバンド

アゼリアジャズオーケストラ

池田の音聴かせます

10日、クリスマスマスコンサート

池田市民文化会館「アゼリアホール」を拠点に活動するジャズのビッグバンド「足立衛&アゼリアジャズオーケストラ」が、10日午後2時半からクリスマスマスコンサートを開く。「ラプソディー・イン・ブルー」などで知られるジョージ・ガーシュインを特集し、スタンダードナンバーを披露する。同バンドは、アルトサクソ奏者足立衛さん(60)が主宰し、6月

主宰の足立さん「スタンダード楽しんで」

に結成された。公共ホールを拠点にするビッグバンドは全国でも珍しいという。

同ホールのスタジオでは03年から、ジャズの演奏家や愛好家らでつくる関西ジャズ協会といけた市民文化振興財団が、音楽文化の振興を目指してジャズスクールを開いている。

足立さんが、このスクールで講師を務めていることに加え、アゼリアホールが今年で開館30周年を迎えたことをきっかけに、バンドが誕生した。足立さんは「前衛的なジャズと違い、構えずに聴けるスタンダードジャズの楽しさを広げたい」と話す。

バンドは、公演ごとに関西の各ジャズバンドで活動する奏者が集まる方式をとっており、10日のコンサートには17人が出演する予定だ。米国で活躍するボーカルの西田あつ子さんもゲスト出演。ともに10年以上の活動歴がある「池田銀行ジャズ倶楽部」と、ダイハツ社員でつくる「スピリット・ジャズ・アンサンブル」も演奏を披露する。

入場料は前売り3500円、当日4千円。公演後は同ホールのレストランで、出演者らが飛び入りで演奏するジャムセッション(千円、要予約)を楽しむ。問い合わせは同ホール(072・761・8811)へ。

ジャズスクールで生徒を指導する「アゼリアジャズオーケストラ」主宰者の足立衛さん(右)池田市天神1丁目のアゼリアホールで